

第2期関西観光・文化振興計画 最終案の概要

I 計画策定の趣旨・計画期間

関西の観光・文化は、2022年度の文化庁の関西移転、2025年の「大阪・関西万博」の開催等を好機と捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響、持続可能な開発目標（SDGs）、DXなどの時代の変化に対応する必要がある。関西広域連合では、観光、文化が互いをさらに高め合い、関西が一丸となって新たなステージへの成長につながるよう、国際観光振興及び文化振興の戦略を策定する。

計画期間は、令和4（2022）年4月から令和9（2027）年3月までの5年間とするが、新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンドの回復の状況により戦略を見直す必要や新たな課題等が生じた場合は、計画の見直しを行う。

II 関西の観光・文化をとりまく現状と課題

観光・文化をとりまく現状

- (1) 国際観光の状況
- (2) 文化資源の集積と多様化
- (3) 文化庁の関西移転を契機とした新たな文化行政の推進
- (4) 「大阪・関西万博」等をはじめとする国際イベントの開催等
- (5) 観光・文化を取り巻く新たな潮流（サステナビリティ（持続可能性）、デジタル技術の進展等）
- (6) 新型コロナウイルス感染症の影響

これまでの取組 — 関西広域連合による前計画期間（2012年4月から2022年3月）の主な取組 —

- (1) 広域観光の展開による関西への誘客
- (2) 官民が一体となった広域連携DMOの取組の推進
- (3) 戦略的なプロモーションの展開
- (4) 外国人観光客等の受入を拡大するための観光基盤の整備
- (5) 関西文化の振興と国内外への魅力発信及び連携交流による関西文化の向上
- (6) 関西文化の次世代継承
- (7) 情報発信・連携交流支援・人づくりを支えるプラットフォームの活用
- (8) 文化庁の関西移転を見据えた新たな関西文化の振興
- (9) その他の取組

観光・文化をとりまく課題

- (1) 関西を輝かせる地域文化等による持続性の高い観光の推進
- (2) 関西の観光・文化の魅力の更なる向上やDXの促進
- (3) 安心・安全に旅行できる受入環境整備と観光コンテンツの多様化
- (4) 文化庁の関西移転を契機とした文化観光の推進と文化に親しむ機会の創出
- (5) 文化の次世代への保存・継承と発展

III 文化・観光を通じた関西の将来像

新時代の文化・観光首都の創造

関西は、文化庁の関西移転、大阪・関西万博の開催などに象徴される新時代を迎えている。

新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中が難局にある中、「文化や観光は、人々の精神を支える基本的、普遍的な価値を有し、SDGsが目指す未来を切り拓くもの」と捉え、世界の人々があこがれる、新しい時代の「文化・観光首都」関西を創造していく。

IV 将来像実現のための戦略

■戦略1 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進

観光客の分散化や一部観光地の過度な混雑の解消、観光・文化資源の保全により、観光客、地域住民、観光事業者がともに満足できる質の高い観光を実現するとともに、テーマ観光などに取り組み、関西への来訪者の周遊を促す。また、人材育成や災害時の情報提供など、安心・安全な旅行環境整備を推進する。

- ① 文化を活用した「KANSAI」ブランド力の向上と情報発信
- ② 文化財・生活文化等の観光資源化
- ③ 「歴史・伝統・文化」等による観光の推進
- ④ 観光に従事する人材の育成
- ⑤ 安心・安全な旅行環境の整備

■戦略2 関西の観光・文化分野におけるDXの促進

構成府県市等有する観光・文化に関わる各種データの共有・活用を検討するとともに、マーケティングや情報発信におけるDXを促進する。また、AR、VR等の技術を活用し、観光・文化資源のコンテンツ化や交通便利性の向上を促進・支援する。

- ① 効果的なマーケティングの実施
- ② 新技術の活用
- ③ 交通アクセス等の利便性向上

■戦略3 多様な観光客への対応

誰もが安心して関西の観光を楽しむことができるよう、食や宗教、生活習慣などに対応できる環境の整備を図るとともに、多様なニーズや旅行スタイルに応じたコンテンツの創出に取り組む。また、社会潮流の変化に伴って新たに生まれる観光ニーズへの適切な対応にも努める。

- ① 生活習慣や文化の違い等に配慮した受入環境整備
- ② 多様なニーズへの対応強化

■戦略4 関西文化に親しむ機会の創出

関西にゆかりのある文化人の記念となる周年などの機会を活かした取組や、まちづくりに文化を積極的に活用する取組を支援することで関西文化に親しむ機会を創出する。また、地域の相互交流等による関西の文化力の向上を図る。

- ① 関西文化の振興と連携促進
- ② 連携交流による関西文化の一層の向上

■戦略5 関西文化の次世代への保存・継承と発展

子どもに文化体験の機会を提供し、文化を支える活動への啓発と次代の文化を担う人材育成を図る。また、アーティストへの効果的な支援情報の提供や他分野連携により、文化活動の支援・発展を図る。

- ① 関西文化の次世代を担う人材育成
- ② 関西の文化活動への支援

■戦略6 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進

関西広域連合のパビリオンを観光・文化のゲートウェイとし、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じて関西各地と万博が結ばれるよう、各地域の魅力を紹介し、関西広域の周遊を促進する。

また、万博での取組による有形・無形のレガシーを活用し、万博後も持続性の高い観光の推進に努める。

- ① 「大阪・関西万博」に向けた環境整備等
- ② 「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進
- ③ 「大阪・関西万博」のレガシーの活用

■戦略7 推進体制の確立・強化

関係団体がそれぞれの強みを発揮し、役割分担しながら取組を進める。観光分野では大阪・関西万博の開催を見据えた国際観光を、文化分野では文化庁と連携した総合的・戦略的な文化振興策を推進する。

- ① 関西文化を支えるプラットフォームの活用
- ② 関西広域の国際観光推進
- ③ 関西広域連合の各分野との連携

V 計画の目標

訪日外国人旅行者数や外国人旅行消費額などこれまでの指標に加え、質重視の観光指標の導入や人材育成など多方面から指標を検討する必要があるが、新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンドの回復時期等が見通せないため、今後計画の見直しを行う際に、指標及び目標値を設定する。

インバウンド回復までの緊急対応

インバウンド観光の復活までは、国内観光の需要喚起に向けた情報発信等を実施する。特に在日外国人への情報提供をはじめ、その視点や影響力を活用した取組を推進する。インバウンド観光客の受入れ再開時には、感染対策などの情報発信のほか、広域周遊を促すキャンペーン事業の実施など、「ONE 関西」で取り組む。